

選 択 問 題 紙

経済学部 1・2 部
経営学部 1・2 部（経営学科）

2025 年 2 月 10 日

10：00～11：00（60分）

注 意 事 項

—— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。——

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

受験する学部（1・2部の区別を含む）に該当する問題のページと解答用紙の色は下表の通りである。

選択問題	ページ	解答用紙
日 本 史	2 ～ 6	水 色
世 界 史	8 ～ 15	緑 色
地 理	16 ～ 26	紫 色
政 治・経 済	28 ～ 37	桃 色
数学（経済学部 1 部・経営学部 1 部）	38 ～ 42	黄 色
数学（経済学部 2 部・経営学部 2 部）	38 ～ 42	灰 色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。
5. 試験終了まで退室してはいけない。
6. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

—— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。——

7. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

問題 **1**，**2** が必須で，問題 **3**，**4**，**5** については，これらの中から 1 問を選択し，解答用紙の ☐ の中に選択した問題の番号を記入すること。

なお，問題 **2** は，問題 **A**，**B** のどちらか一方の問題を選択し，問題 **2** の解答欄にある ☐ の中に選択した問題の記号（A または B）を記入すること。

世界史

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

2023年10月に、(1) と、パレスチナのガザ地区を実効支配する政治・軍事組織「ハマース（ハマス）」との間で戦闘が勃発し、その後長期にわたって双方に多数の死傷者が出る事態となった。この出来事に見られるような、パレスチナでの(1) とアラブ諸国・諸勢力との間の対立は「パレスチナ問題」^(a)と呼ばれているが、東地中海沿岸のシリア・パレスチナ地方は、紀元前からさまざまな政治・文化・宗教の交差点となっていた。^(b)

前12世紀頃からは、シドンやティルスなどの海港都市国家を拠点として東地中海の交易にたずさわった(2) 人が勢力を拡大し、北アフリカからイベリア半島にかけて多くの植民都市を建設した。^(c)また、(3) 人はダマスカスなどを拠点に内陸都市を結ぶ中継貿易で活躍し、その範囲はイラン高原から中央アジアにまで達した。そしてシリア南部で活動したヘブライ人は、パレスチナに王国を建設し前10世紀頃には(4) を中心に繁栄したが、後に北の(A) 王国と南の(B) 王国に分裂した。(A) 王国はアッシリアに滅ぼされ、(B) 王国も新バビロニアに征服されて住民の多くはその都に強制移住させられた。^(d)これを(5) 捕囚と呼ぶ。

ヘブライ人は、唯一神への信仰を固く守り、やがて神により選民として特別の恩恵を与えられているという選民思想や、救世主を待望する信仰を生み出した。彼らは(5) から解放されて帰国すると、(4) に唯一神の神殿を再興し、(6) を確立した。(6) には、伝承や預言者の言葉などがまとめられた教典があるが、それは4世紀末にローマ帝国の国教となった(7)では『旧約聖書』と呼ばれている。^(e)『旧約聖書』は、同じく唯一神を信仰する(7) や7世紀前半にムハンマドによって開かれた(8) にとっても共通の教典となっており、ここで描かれた物語は世界史の大枠ないし歴史観として、前近代の西アジアやヨーロッパの社会で共有されていた。^(f)

問1 文中の空欄(1) ～ (8) にあてはまる語句を、次のア～トからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| ア. アッカド | イ. イスラエル | ウ. ティリンス | エ. アレッポ |
| オ. イスラーム | カ. イェルサレム | キ. マケドニア | ク. フェニキア |
| ケ. レバノン | コ. バビロン | サ. ミケーネ | シ. ハマド |
| ス. ミトラ教 | セ. ユダヤ教 | ソ. キリスト教 | タ. アテン信仰 |
| チ. シュメール | ツ. ウルク | テ. アラム | ト. トロイア |

問2 文中の空欄（ A ）と（ B ）に入る語句の組み合わせで、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. Aダヴィデー-Bソロモン イ. Aダヴィデー-Bユダ
ウ. Aイスラエル-Bソロモン エ. Aイスラエル-Bユダ

問3 下線部(a)に関連して、この問題発生的一端ともなったバルフォア宣言と同時期に、イギリスがフランスやロシアとの間でオスマン帝国の領土分割を取り決めた秘密協定は何か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ヴェルサイユ協定 イ. 三国協商
ウ. フサイン・マクマホン協定 エ. サイクス・ピコ協定

問4 下線部(b)に関連して、この地方からエジプトに進出していたヒクソスを撃退し前16世紀に成立したエジプト新王国は、領土を拡大しやがて同地方を支配するにいたった。アメンホテプ4世によって遷都されるまで、この国の都はどこであったか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. テーベ イ. メンフィス ウ. ギザ エ. アマルナ

問5 下線部(c)に関連して、ティルス出身の植民者が建設し、前2世紀にローマによって滅ぼされた北アフリカの都市（ないし都市国家）は何か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. トロヤ イ. カルタゴ ウ. メディア エ. タルテッソス

問6 下線部(d)に関連して、この国を滅ぼした帝国の領土が最大であったとき、当時の王が建設した都は現在のどの国に位置するか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ギリシア イ. イラン ウ. インド エ. トルコ

問7 下線部(e)に関連して、392年に多神教の崇拝儀礼を禁止し（ 7 ）を国教とした皇帝の名は何か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. テオドシウス イ. コンスタンティヌス
ウ. アウグスティヌス エ. ユリアヌス

問8 下線部(f)に関連して、14世紀後半にイギリスで生じたワット=タイラーの乱の思想的指導者であったジョン=ボールは、「（ a ）が耕し（ b ）が紡いだとき、誰が貴族であったのか」という言葉で社会的平等を説いた。空欄（ a ）と（ b ）に入る語句の組み合わせで、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. aアダム-bノア イ. aアダム-bイヴ
ウ. aアブラハム-bノア エ. aアブラハム-bイヴ

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ドイツでは、アウクスブルクの和議が成立したあとも、宗教対立が続いていた。1618年、(1) のプロテスタント貴族が、ハプスブルク家の対プロテスタント強硬政策に反旗をひるがえし、これを機に三十年戦争が始まった。ルター派のデンマーク王クリスチャン4世や、スウェーデン王(2) は、プロテスタント支援を名目として相次いでドイツに侵入し、傭兵隊長(3) が率いる皇帝軍とたたかった。カトリックのフランスも、ハプスブルク家に打撃を与えるためにプロテスタント側についた。こうして宗教戦争は、ヨーロッパの覇権をめぐる国際戦争へと発展していった。

戦いに疲弊した諸国は、1648年にウエストファリア条約を結んでようやく戦争を終結させた。この条約で(A) と(B) の独立が正式に認められたほか、ドイツではルター派のほかに(4) 派が公認され、約300あった各諸侯の(5) は独自の外交権が認められたことで絶対王政の確立に向かった。その一方、神聖ローマ帝国は国家としては形骸化した。こうして、多数の国が調印する国際条約というかたちで保障されたことで、(6) 体制が法的な裏付けを得て最終的に確立された。この体制のもと、17世紀後半に急速に台頭したのがオランダであった。

問1 文中の空欄(1) ～(6) にあてはまる語句を、次のア～シからそれぞれ1つ選び、記号で答えよ。

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| ア. ヴァレンシュタイン | イ. リシュリユー | ウ. ベーメン |
| エ. カルヴァン | オ. メソジスト | カ. フス |
| キ. 主権国家 | ク. 立憲国家 | ケ. 領邦国家 |
| コ. グスタフ＝アドルフ | サ. カール5世 | シ. カール12世 |

問2 文中の空欄(A) と(B) に入る語句の組み合わせで、最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|---------------|-----------------|
| ア. AオランダーBスイス | イ. AオランダーBノルウェー |
| ウ. AベルギーーBスイス | エ. AベルギーーBノルウェー |

問3 下線部(a)に関連して、これはルター派を容認する内容であったが、和議成立までに生じたルター派およびルターに関する出来事 A ～ D を年代順に正しく並べたものはどれか、次の ア ～ カ から1つ選び、記号で答えよ。

- A ドイツ農民戦争の勃発
 - B ルターによるドイツ語訳『新約聖書』の完成
 - C 「九十五カ条の論題」による贖宥状販売批判
 - D 教皇レオ10世によるルターの破門
- ア. A→B→C→D イ. A→C→D→B ウ. C→D→B→A
 エ. C→B→A→D オ. B→A→D→C カ. B→D→C→A

問4 下線部(b)に関連して、(1) 王の時代にこの政策の実行を試みた神聖ローマ皇帝は誰か、次の ア ～ エ から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ヨーゼフ2世 イ. フェルディナント2世
- ウ. フィリップ2世 エ. フィリップ4世

問5 下線部(c)に関連して、三十年戦争終結時のフランス国王が建造したバロック建築の代表作は何か、次の ア ～ エ から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ブルボン宮殿 イ. ヴェルサイユ宮殿
- ウ. ノートルダム大聖堂 エ. リュクサンプール宮殿

問6 下線部(d)に関連して、この条約締結以前におこった出来事は何か、次の ア ～ エ から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ナントの王令の発布 イ. 「権利の章典」の制定
- ウ. スペイン継承戦争の勃発 エ. 北方戦争の勃発

問7 下線部(e)に関連して、下の(1)・(2)の問いに答えよ。

(1) その後この地で台頭したプロイセン王国は、プロイセン公国とある国の同君連合をもとに成立したが、ある国とは何か、次の ア ～ エ から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ブランデンブルク選帝侯国 イ. バイエルン選帝侯国
- ウ. ザクセン選帝侯国 エ. ドイツ騎士団国

(2) 1709年以降プロイセン王国の都となり、現在もドイツ最大の人口を擁する都市は何か、次の ア ～ エ から1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ケルン イ. フランクフルト ウ. ベルリン エ. ミュンヘン

問 8 下線部 (f) に関連して，下の (1)・(2) の問いに答えよ。

- (1) オランダは，東インド会社をおもな担い手としてアジアにも進出したが，この会社のジャワ島での拠点の現在の名称は何か，次の ア ～ エ から 1 つ選び，記号で答えよ。

ア. バンコク イ. ジャカルタ ウ. ハノイ エ. 台北

- (2) 17世紀に活躍したオランダの画家で，バロック絵画を代表する人物は誰か，次の ア ～ エ から 1 つ選び，記号で答えよ。

ア. カラヴァッジョ イ. ルーベンス ウ. モリエール エ. レンブラント

3

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

インドでは、17世紀半ばから、オランダ・フランス・イギリスの各勢力が、地方勢力と手を組みつつ、商業権益をめぐって争った。中でもイギリス東インド会社は、1757年の（ 1 ）の戦いでフランスと同盟したベンガル太守軍を破ったのち、地方勢力との間で戦争を繰り返しながら、南アジアの大半を植民地にした。東インド会社はまた、（ 1 ）の戦いの後、ベンガルなどで（ 2 ）と呼ばれる徴税権を獲得したことをきっかけに、植民地支配の機構を急速に整え、本来の貿易会社から統治機関へと変貌していった。いっぽう、16世紀前半からインドを支配してきた（ 3 ）帝国は、実質的な統治能力を失っていった。

イギリスによるインド支配が強まる中、1857年に、（ 4 ）と呼ばれたインド人傭兵たちがイギリスに対して反乱を起こすと、またたく間に北インド各地に広がり、イギリス支配に不満を抱いていた地主や民衆、一部の藩王国を巻き込んで、のちにインド初の民族運動とも評される（ 5 ）へと発展した。これに対しイギリスは、（ 3 ）帝国皇帝をとらえて帝国を滅ぼし、東インド会社も廃止することで、インドはイギリスの植民地となり、さらに1877年、イギリスの（ 6 ）女王を皇帝とする（ 7 ）となった。いっぽうイギリスは、従来の「啓蒙主義的」な変革ではなく、宗教やカーストなどインド社会の「伝統」を維持する方向へと政策転換することで、インド統治の安定化を図ろうとした。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 7 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、デカン高原西部の諸侯による連合体と、イギリスとの間で3次にわたって行われた戦争は何と呼ばれるか、答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、イギリスがベンガルなどの在地領主層に土地所有権を認めるいっぽう、永代定額の地税納入の義務を負わせた制度は何と呼ばれるか、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、カースト間や宗教間の相違・対立を利用しながら団結や抵抗を防ぎ、支配を容易にした統治方法は何と呼ばれるか、漢字4字で答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

第二次世界大戦末期の1945年4月、(1) 大統領の死去を受けて副大統領から第33代アメリカ大統領に昇格したのがトルーマンである。彼は戦後処理を協議するボツダム会談^(a)に出席し、日本への原爆投下を命じた。西欧での共産党勢力の伸長と東欧でのソ連支配により、ソ連への警戒感が高まるなか、1947年、トルーマン大統領はトルーマン・ドクトリン^(b)を発して、ソ連勢力の「封じ込め」政策の開始を宣言する。

冷戦の進展は、アメリカの国内情勢にも深い影響を及ぼした。1949年にソ連が原爆開発に成功すると、50年ごろから、左翼運動や共産主義者を攻撃する「(2)」が始まった。1953年に第34代大統領に就任したアイゼンハワーは、朝鮮戦争の休戦を実現し、ソ連との緊張緩和を目指した^(c)。しかし、この時期以降、アメリカは、平時でも巨額な軍事費を支出するようになり、軍部と軍需産業が癒着した(3)の形成が進んだ。

1961年、43歳の若さで第35代大統領に就任したケネディは、キューバ危機^(d)でソ連との武力衝突回避に成功してからは平和共存政策を進め、1963年にはアメリカとイギリス、ソ連との間で(4)が締結される。1963年11月にケネディが暗殺され、副大統領から第36代大統領に就任したジョンソンは、1964年に公民権法を成立させた後、貧困の解消、人種差別の撤廃を目指す^(e)も、ベトナム戦争への介入拡大が社会の分裂を招いた。

問1 文中の空欄(1)～(4)にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この会談に途中から出席した労働党内閣を率いるイギリスの首相で、「ゆりかごから墓場まで」と評される包括的な社会福祉体制を整備した人物名を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、このドクトリンが直接的に援助の対象国とする国の組み合わせとして適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ギリシア・イタリア イ. トルコ・エジプト ウ. ギリシア・トルコ
エ. イタリア・ユーゴスラヴィア

問4 下線部(c)に関連して、1959年にソ連指導者として初めて訪米し、アイゼンハワーと首脳会談を行った人物名を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、キューバが自国にソ連のミサイル基地建設を認めたことがこの危機の発端となったが、当時のキューバの首相の名を答えよ。

問6 下線部(e)に関連して、このことを謳った政策の名称として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 「偉大な社会」計画 イ. ニューフロンティア政策 ウ. 新経済政策
エ. 「大きな政府」論

問7 トルーマンからジョンソンまでの4名の歴代大統領について、共和党と民主党の大統領の人数として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 民主党が1名、共和党が3名 イ. 民主党が3名、共和党が1名
ウ. 民主党が4名、共和党が0名 エ. 民主党が2名、共和党が2名